

高城公民館だより

第389号 2021年(令和3年)1月 高城公民館発行

【所在地】〒682-0642 鳥取県倉吉市上福田480

【開館】平日9:00~17:00(休日・祝日・盆・年末年始を除く) 【TEL】28-0950

【FAX】28-6033 【E-mail】kotakasi@ncn-k.net 【HP】http://www.ncn-k.net/kotakasi/

☆11月末現在 高城地区世帯数…(749世帯) 高城地区人口…男 935人・女 943人・計 1,878人



謹賀新年

新年あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、新型コロナの発生により、世の中が一変しました。個々の安全を守るため、人が集まること、また大勢で会食をすることが大きく制限された年でした。これに伴い、公民館活動も縮小、または中止を余儀なくされ、常にコロナを意識して、人との接触を考えた活動となりました。

さて、今年4月に公民館がコミュニティーセンターに名称が変わります。コミュニティーセンターは、地域づくり活動と社会教育の拠点を目指しています。コミュニティーセンターとしての機能を果たすには、地域組織と公民館の一体化が求められます。

今年度は、コミュニティーセンターの機能整備という大きな課題があります。この課題に向かって、地域の皆さんと共にしっかり取り組んで行きたいと思っております。ご協力、ご支援の程、よろしくお願い致します。

最後になりましたが、地域の皆様のご健康とご多幸、そしてコロナの終息を祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和3年 元旦

高城公民館職員一同



高城自衛消防団からのお知らせ

今年の出初式は、新型コロナウイルス感染症防止のため、**中止**いたします。



高城公民館研究指定事業

菜の花 Yellow プロジェクト 地域づくり講座

日時：令和3年1月17日(日)

10:00 ~ 11:30

会場：高城公民館 大会議室

講師：田村 大輔 さん(服部在住)

テーマ：「都会からの孫ターン /

受け継いだ暮らしへの思い」

孫ターンをきっかけに、高城で生きる!

若者が暮らしの中で楽しみながら日々を過ごすことへの思いをお話していただきます。

ざっくばらんな、楽しい会です。

参加をお待ちしています!

主催：高城公民館研究指定事業



乳幼児クラブのご案内

1月の乳幼児クラブは、天候不順のためお休みです。次回は2月19日(金)の予定です。

<上米積児童センター・高城公民館>

高城保育園 わんぱくクラブ 1月予定

5日(火) 室内遊び

15日(金) 室内遊び

22日(金) 室内遊び

26日(火) 製作



□時間…午前9時30分~10時45分

□準備物…必要に応じ、帽子、着替え、靴、タオル、お茶等

□問い合わせ…高城保育園(☎28-2202)

公民館からのお知らせ

地域の皆さんからの投稿を募集します!

地域の皆さんからの投稿を募集します。

毎月中旬までに高城公民館へお寄せ下さい。

紙面の都合上、投稿者全員分は掲載出来ない場合があります。(50文字程度)

1月 予定

日	曜日	内容(時間・場所)
8	金	ふれあい給食
12	火	なごもう会 13:30~15:00 民児協定例会 19:00~
13	水	初自治公館長会 19:00~大会議室 初体育部長会 19:00~会議室
14	木	初自衛消防団長会 19:00~大会議室 初土木部長会 19:00~会議室
15	金	ふれあい給食 初交通安全部長会 19:00~大会議室 初生活文化部長会 19:00~会議室
17	日	110-7° ぜ! 外地域づくり講座 10:00
21	木	自治公役員会 19:00~
22	金	ふれあい給食
26	火	なごもう会 13:30~15:00
29	金	自治公予算総会 19:00~

※高城公民館からのお知らせ

1月21日(木)午前中~主事会の為 主事は不在です。

各教室の活動予定

- すぎなの会 ☆毎週水曜日
<ふれあいセンター>
- はなれ舞会 ☆毎週火・木曜日
<ふれあいセンター>
- ちぎり絵 ☆第1月曜日・毎週金曜日
<ふれあいセンター>
- ひまわり会<カラオケ> ☆毎月2回
<ふれあいセンター>
- 水彩画教室 ☆第2、第4金曜日
<高城公民館>
- 尺八教室 ☆毎週月曜日
<高城公民館>
- 走ろう教室 ☆1月13日(水)、20日(水)、27日(水)20時~21時
【集合場所】
高城小学校駐車場
または、ふれあいセンター前



お正月と食事

高城地区食生活改善推進員

季節の行事や祭りには、その意に合わせて食材に健康や幸せ、豊作の願いを込めた料理・食事が作られ、地域や家庭で受け継がれてきました。健康で安心な暮らしを楽しめるよう願いを込めた食材を用いた伝統的な料理、食事を次世代へ伝えていきたいものですね。

お正月は、その年の子孫繁栄および五穀豊穡をつかさどる年神様をお迎えするためであるとされています。その中でも忘れてはいけないのが「おせち」や「七草粥」といった、代表的なお正月・1月の行事食です。

1月1日 大正月

<行事食・おせち>

おせちは、一の重(口取り・祝い肴)、二の重(焼き物)、三の重(煮物)、与の重(酢の物・和え物)正月の祝いに欠かせない「祝い肴と餅」を揃えれば、最低限の正月の祝いが出来るといわれています。この祝い肴三種とは、子孫繁栄を願って数の子。黒には魔除けの力があるとされ、まめに働き、健康に暮らせることを願って黒豆(関東)。豊作を願って田作り。根を深く張り代々続く。叩いて身を開き開運を願いたたきごぼう(関西)



【雑煮】

高城地区の雑煮といえば、小豆雑煮が主流であるが、歳徳神を祀っていた当時は、神前に供えたものを食材にして澄まし汁仕立ての雑煮が見られた。砂糖が普及せず小豆雑煮には、塩味が済ませる家が大方であり、明治中頃まで続いていたと言いつながりが残されている。

1月7日

<行事食・七草がゆ>

七草がゆに使われる青菜は、いずれも秋に発芽し1月はじめに若芽になる野草です。抗酸化力が高く胃腸を整え、粘膜を強化する働きに優れています。青菜のビタミンを活かすため、青菜は炊き上がったおかゆに加えます。



1月15日 小正月

<行事食・小豆粥>

小豆粥は疲労回復力や体内を解毒する働きに優れているおかゆです。

赤い色は、水溶性の色素のアントシアニン、強い抗酸化力を持ち老化防止に優れています。

11月・12月 報告

公民館

ありのままを申告す

国勢調査100年【出前講座】(11月28日(土))

国勢調査100年を記念して、倉吉市博物館の出前講座が高城公民館にて開催されました。講師は、倉吉博物館の関本明子主任学芸員です。高城公民館の正面玄関には第1回国勢調査の記念碑(石柱)が一対建てられています。このような記念碑が現存していることは、全国でもとても珍しいそうです。この立派な記念碑を見ると、当時の高城人の故郷の未来にかけ熱い気持ちが伝わってくるようです。

講座では、高城の記念碑も紹介されました。第1回国勢調査(1920年(大正9年)は、新政府になって初めて全国一斉調査で、政府も国民も新たな時代を築いていこうと、政府も国民も大きな期待を抱いていたようです。当時の調査活動について記録も残されており、全国民で真剣に取り組んだ様子を思い描くことができました。



公民館

倉吉市公民館研究大会

オンラインで開催 (12月11日(金))

倉吉市公民館研究大会は、コロナ禍の中、各地区公民館をオンラインで結んで開催されました。例年は、倉吉市の公民館職員が一堂に会して研究発表しますが、今年はオンラインでの新たな方式で実施されました。今回の研修は、コミュニティーセンター化の先進地雲南市の取組について市の担当者から話を聞きました。倉吉市は、来年4月に公民館からコミュニティーセンターに名称が変わります。コミュニティーセンターの機能・在り方について、地域の皆さんと一緒に考えて行きたいと思っております。よろしくお願いいたします。

公民館

乳幼児クラブ (12月18日(金))

今月は、はらぺこあおむしの3名を講師にお迎えし、工作をしました。13組の親子の参加がありました。工作をしたり、クリスマス関係の絵本の読み聞かせをした後、今年度は新型コロナウイルス対策で調理実習はせず講師が作ったランチボックスを持ち帰りました。参加者から「盛り沢山で楽しかった」との意見があり喜んでいただけました。



故郷の未来を照らそう

☆たかしろイルミネーション (12月19日(土))

今年で3回目となったイルミネーション。2日前の大雪により会場の高城ふれあいセンターは、白銀の世界となりました。

今年の点灯イベントは、新型コロナの影響により、昨年より規模を縮小して行いました。今回は、青少協の協力を得て、子ども達の竹灯ろう作りを実施。出来上がった作品は会場に展示しました。子供たちは、慣れない竹細工に悪戦苦闘しましたが、出来上がった作品に満面の笑顔。

午後5時、久米中の生徒さんによるカウントダウンが開始。最初に、イルミネーション取組活動の記録映像(自主製作)を、大型スクリーンで「ハピネス」の曲に合わせて紹介。そして、朝倉宏隆君のかけ声で全員がカウントダウン。イルミネーションは見事に点灯し、一斉に歓声があがりました。

このイルミネーションの取組は、自治公協議会、地区振等の各団体から支援していただいています。

点灯期間は本日から来年の1月9日(土)、点灯時間は午後5時から午後10時を予定しています。地域の皆さん、この素敵な光の世界をご覧ください (未来塾たかしろ 代表 笠見満隆)



大型スクリーンで映写



竹灯ろうと記念撮影



イルミネーション

たかしろの歴史を訪ねてコーナー



牛も仲間の家族構成

元号が令和に替わって早や3年、丑年の正月を迎えた。

この新年が、穏やかな年である事を心から祈るばかりである。

その昔、農家を訪れると先ず牛に挨拶をして家に入っていた。牛はどの家にも2~3頭はいて、農家にとって農作業の原動力であり、草を食べて堆肥を作り、仔牛を生んで現金収入を増やす宝であった。だから母屋の入り口付近の「まや」に棲み、家族同様の扱い。時々「肥出し」といって「まや」の下敷きの草の交換を要し、その為に入り口付近にセットされていた。牛の出産には人の手が必要だった。深夜にもお産が始まると、親牛は苦しさの余りにか声を発して応援を求めている様に思う。よって同居が必要であったであろう。

牛の登録は、人間には指紋が記録される様に、牛には鼻紋が取られていた。

(小谷 政美)

健康教室 第2弾

健康ウォーク

「晩秋の米子城跡と城下町をぶらり・ぶらり」(11月29日(日))

午前10時に米子市の湊山公園駐車場をスタート地点として、米子城下町をゆっくりペースで歩いて来ました。

あいにく、時折冷たい雨の降る日ではありませんでしたが、21名の参加者が傘を貸し合い仲睦まじい雰囲気なかで、由緒ある9つの寺院が並ぶ寺町通りとその周辺を散策しました。城下町歩きのゴール地点には、老舗お茶屋さんのおいしい和菓子の他に今ばやりの抹茶ラテ、サンドイッチなどの新商品もあり、ゆっくり休憩も出来ました。

また、米子市内にある某テレビ局のカメラ取材があり、夕方のニュースにその時の映像が映し出されるなどの予期せぬ出来事があり、楽しさが倍増したと参加者からの感想がありました。

雨あしが徐々に強くなる中での米子城跡登頂となりましたが、米子城跡に足を踏み入れ進むと、次第に青空が見えてくるという奇跡が起こりました。城跡頂上には、季節はずれの桜が咲き、なんとも不思議な光景でした。少しでも晴れ間があると、心も晴れて気持ち良い、一日になりました。



炊飯器で作る小豆粥

<簡単レシピ>

◎小正月に小豆粥を食べると、「一年間の邪気を払い、万病を除く」と言い伝えられています。お試しください。

【材料】2人分

- ・お米 0.5合
- ・ゆで小豆 ゆで汁こみでお玉で2杯程度
※ゆで小豆は、市販のもので良い
- ・塩 少々



【作り方】

1. ゆで小豆は、小豆とゆで汁に分けておきます。
2. お米は研いで、軽く水を切っておきます。
3. 炊飯釜に、研いだお米、ゆで汁を入れ、おかゆの分量の線に合わせて水を入れます。
4. 塩を少々入れたら、おかゆコースでスイッチオン!
5. 炊き上がったらすぐに、分けておいた小豆を入れます。
6. 5~10分蒸らしたら、かき混ぜて出来上がりです。